

行政視察等報告書（個人用）

令和元年 8 月 5 日

知立市議会議長 様

報 告 者	那須幸子																
日 時	令和元年 8 月 2 日																
視察（研修）場所	安城市役所																
研修内容	ロタウイルス予防接種助成制度について																
★事業導入までの経緯について ロタウイルス予防接種費用の一部助成をすることとした理由 ・乳児期に感染すると胃腸炎が重症化しやすいため。 ・ワクチン代が一番高価なため、助成することで保護者の負担を軽減する。 ・予防効果が高い ・定期の予防接種となるのは、遅いと推測された。 ★事業概要と事業費について ①事業概要 ・ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防するため、平成 26 年 4 月生まれの児からを対象にロタウイルス予防接種費用の一部助成を実施。 ②事業費 ・平成 31 年度予算額 <table border="0"> <tr> <td colspan="2">[4～9 月]</td> </tr> <tr> <td>・ロタリックス：4,878 円*1,000 人（2 回）</td> <td>7,048,710 円</td> </tr> <tr> <td>・ロタテック：3,378 円*1,000 人（3 回）</td> <td>1,292,085 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">[10～3 月]</td> </tr> <tr> <td>・ロタリックス：4,885 円*1,000 人（2 回）</td> <td>7,058,825 円</td> </tr> <tr> <td>・ロタテック：3,385 円*1,000 人（3 回）</td> <td>1,294,762 円</td> </tr> </table> ・助成額 <table border="0"> <tr> <td>ロタリックス</td> <td>4,500 円/回</td> </tr> <tr> <td>ロタテック</td> <td>3,000 円/回</td> </tr> </table>		[4～9 月]		・ロタリックス：4,878 円*1,000 人（2 回）	7,048,710 円	・ロタテック：3,378 円*1,000 人（3 回）	1,292,085 円	[10～3 月]		・ロタリックス：4,885 円*1,000 人（2 回）	7,058,825 円	・ロタテック：3,385 円*1,000 人（3 回）	1,294,762 円	ロタリックス	4,500 円/回	ロタテック	3,000 円/回
[4～9 月]																	
・ロタリックス：4,878 円*1,000 人（2 回）	7,048,710 円																
・ロタテック：3,378 円*1,000 人（3 回）	1,292,085 円																
[10～3 月]																	
・ロタリックス：4,885 円*1,000 人（2 回）	7,058,825 円																
・ロタテック：3,385 円*1,000 人（3 回）	1,294,762 円																
ロタリックス	4,500 円/回																
ロタテック	3,000 円/回																

★接種割合と接種の効果

①接種割合

平成 30 年 対象者 1,832 人

ロタリックス (2 回) 約 1,832 人

ロタテック (3 回) 約 290 人

計 約 1,619 人

接種率 約 88.3%

②接種の効果

数値での実績はないが、市内のクリニックの医師によると、ロタウイルス胃腸炎による入院件数は減ったとの事。

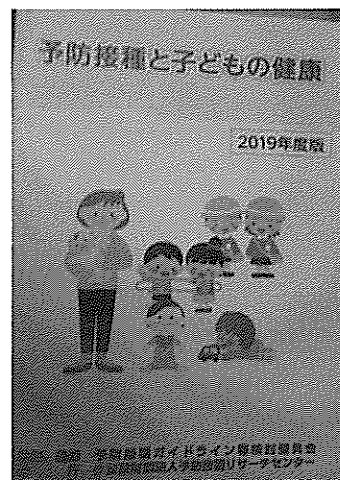
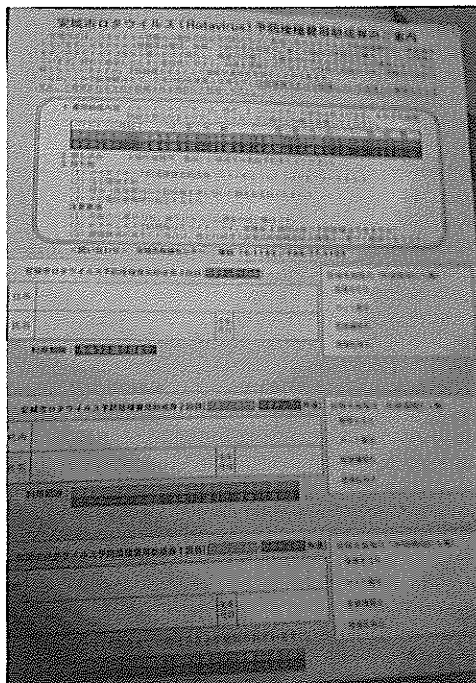
★副反応について

実数は不明。

助成開始から現在までの副反応の報告はない。

★今後の課題

自己負担を軽減するため、ロタウイルス予防接種費用の一部助成を 30%以上となるよう予算を確保したい。



★所感

ロタウイルス胃腸炎は、乳幼児期（0歳から6歳頃）にかかりやすい病気で、感染力が大変強く、ごくわずかなウイルスが入っただけでも感染してしまう胃腸炎です。

日本でのロタウイルス胃腸炎の発症は、冬から春に多く、年間80万人が感染するといわれています。

ふつう5歳までにほぼ全ての子どもがロタウイルスに感染するといわれています。

安城市さんの接種の効果でも、数値での実績はないということですが、入院の件数が減ったと伺い、予防接種の必要性を強く感じました。

ロタウイルスワクチンの接種は高額がかかります。

知立市でも、自己負担を軽くするためにも費用の助成を早急に実施して頂きたいと思います。



※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。

行政視察等報告書（個人用）

令和元年 8 月 5 日

知立市議会議長 様

報 告 者	那須幸子
日 時	令和元年 8 月 2 日
視察（研修）場所	安城市役所
研修内容	新生児聴覚検査助成制度について

★事業導入までの経緯について

厚生労働省の通知「新生児聴覚検査の実施について」の中にある「新生児聴覚検査に係る費用について公費負担を行い、受診者の経済的負担の軽減を積極的に図ること」とあり、安城市では「お誕生記念ここから健康事業」の一つとして、新生児聴覚検査の費用助成を開始しました。

★事業概要と事業費について

①事業概要

・ 目的

言葉の発達を促すために、生まれてすぐ検査を受けることが必要であることを周知するため。経済的負担の軽減を図り、検査を受けやすくするため。異常の早期発見・早期療育に結びつけるため。

・ 対象

検査実施日に安城市住民登録のある児。

・ 対象検査

原則 1 か月以内に、国内医療機関で受けた自動 ABR または、OAE 検査。
保険診療で実施した場合については助産所で受けた場合は対象外。
やむを得ない事情により 1 か月を超えて検査を受けた場合も対象となる。

・ 内容

赤ちゃん 1 人につき 5,000 円（税込）を限度に助成する。

平成 31 年度からは助成方法を償還払いから現物給付（受診票）に変更した。

★事業実施の成果

平成 30 年度の検査実施状況

3・4 か月健診の対象児童数 1,874 人

検査人数 1,797 人 実施率 95.9%

そのうち精密検査対象者数 13 人 受診者数 5 人 実施率 38.5%

検査結果 一般性難聴 3 人 両側難聴 1 人 正常 0 人
評価不能 1 人

★今後の課題

新生児聴覚検査受診率 100%を実現する。

受診の向上につながるよう県下統一しての取り組みが必要。

新生児聴覚検査の必要性が認識されていない現状がある。

償還払いの費用助成から受診票の交付に変更し、妊産婦・乳児検診の受診票の綴りに綴り込み、交付することで意識づけを高めることにつながると考えている。

この表は、新生児聴覚検査の結果を記載するためのものです。検査結果は、医師の診断に基づいて記載されます。保護者の方へのお断いは、検査の重要性や、検査結果が正常でも聴覚障害の可能性があることについて記載されています。

この表は、新生児聴覚検査の結果を記載するためのものです。検査結果は、医師の診断に基づいて記載されます。保護者の方へのお断いは、検査の重要性や、検査結果が正常でも聴覚障害の可能性があることについて記載されています。

★所感

新生児聴覚検査（新生児聴覚スクリーニング検査）は聴覚障害を早期に発見することができ、適切な療育援助を早くから受ける事ができ、とても重要なことだと思います。

コミュニケーションの形成や言語発達の間でも大きな効果が得られると思います。安城市においても、95.9%の検査実施率があり、この数値をみても認知度が高く、また、検査人数の中から0.2%の方が疑いがあると診断されたと伺い、検査の必要性を強く感じました。

安城市では、新生児受診票〔健診費用（補助）5,000円）を妊産婦・乳児検診の受診票の綴りに綴りこむことで受診に対する意識が高まっていると思います。知立市は今、子育て世代の方が多く、人口も増えています。

この新生児聴覚検査の受診者の経済的負担の軽減をはかる為にも、費用助成の検討を早急にお願いしたいと思います。



※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。